

明るい兆しが見え始めたオーストラリア

Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

9月に入り、オーストラリア経済への明るい兆しとともに、これまで下落基調となっていた豪ドルに、持ち直しの動きが見え始めています。

オーストラリアではこれまで、①同国最大の輸出先である中国の景気減速が懸念されてきたこと、②中央銀行であるRBA(豪州準備銀行)が、過度な豪ドル高は国際競争力の低下を招くとして利下げを続けてきたこと、③新興国の景気減速が懸念される中、鉱業品輸出が中心のオーストラリアにも景気減速が懸念されはじめたこと、などが嫌気され、豪ドルは軟調な展開が続きました。

しかしながら、8月以降、中国の輸出や製造活動などを示す経済指標から持ち直しの動きが見られていることや、RBAが、金融政策を決める9月の決定会合で、引き続き豪ドル安を支持しながらも、追加利下げに対して、これまでほど強い姿勢を示さなかったことなど、国内外の状況に変化が見られ始めたことが金融市場で好感され、豪ドルは反発に転じています。

また、今月7日に行なわれた総選挙では、野党・保守連合が6年ぶりの政権奪還を果たしました。新政権は、資源関連を含めた企業支援政策に加え、総額200億豪ドルともされる大規模なインフラ投資を掲げており、これらが実現に向かえば、景気を大きく底上げすることが期待されます。また同国は、金融危機時の財政支出に伴って財政がやや悪化したものの、多くの先進国と比べても、相対的な健全性は依然として群を抜いており、今後さらなる健全化が見込まれる点は、大きな強みになると考えられます。

こうした一連の明るい兆しとともに、景気回復基調が一段と鮮明になれば、利下げ観測が和らぐことが考えられ、オーストラリア経済の底堅さや高い信用力などを背景に、豪ドルは底堅い展開が続くことが期待されます。

足元で持ち直しが見られる豪ドル

豪ドルの年初来推移

(2013年1月初～2013年9月17日)



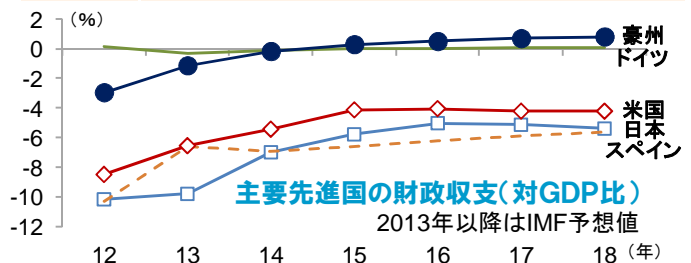
信頼できると判断したデータをもとに、日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものおよび予想であり、将来を約束するものではありません。

新政権下で回復が期待されるオーストラリア

野党・保守連合が掲げる主な公約

企業活性化	・炭素課税制度および鉱物資源利用税の撤廃 ・建築・建設業界の支援 ・法人税減税
インフラ投資	・道路建設・改修を中心に、200億豪ドル以上にするインフラ投資の実施
雇用創出	・製造業、農業、サービス業、鉱業などの分野で200万人の雇用創出
財政	・財政赤字の改善および黒字化の実現



日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。